



第57号
豊明市立沓掛中学校

発行日
平成29年3月3日



「未見の我」

校長 高御堂 宏

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、この三年間着実に伝統を築き、後輩に伝え、三十五回目の卒業生として旅立ちます。積み重ねた学習、創り上げた行事での体験を糧とし、誇りある沓掛中学校の卒業生として、待ち受ける新しい世界を突き進んでいってほしいと思います。

「未見の我（みけんのわれ）」、これは十年前、私がとても重要な仕事を任された時に、ある先生から贈られた言葉です。今でもその言葉を時折思い出します。沓掛中学校を卒業する皆さんに、この言葉を贈りたいと思います。

「未だ見ぬ自分」とは、「何事にも全力で取り組む時にだけ発動する内にある能力」のことです。精一杯、力の限り取り組み、その結果がどうであれ、未だ見ぬ新しい自分に出会えるということ。その時、人は成長し、道は拓けます。

この言葉は、詩人安積得也さんの「人間賛歌」の一節にあります。また、江戸時代、松下村塾で知られる吉田松陰は、「未だ、見たことのなかった自分を目指しなさい。心は熱く、一生に一度くらい、本気にやってみなさい。必ず達成します。運命を造りなさい。」と言っています。

さあ皆さん、内にある「未見の我」を見つかる旅に出かけましょう。何かにとことん本気で取り組み、未だ見ぬ自分に出会い、皆さんが求めている未来を自らの力で切り拓いていけると思っています。

皆さんは、多くの可能性を秘めています。自分の可能性を信じ、自分の夢や目標を達成するために、本気で取り組んでください。そして、未だ見ぬ新しい自分を見つけ、成長していきってください。皆さんの今後の活躍を心から願っています。

卒業おめでとう

三年学年主任 北川 貴之
『ONE FOR ALL, ALL FOR ONE』

三年生の皆さんなら、この言葉が何を意味するかは分かっていると思います。「二人はみんなのために、みんなは・・・。」

“1+1”を3にも5にもすることができるようになるために、社会に出てしっかりと生き抜いていくことのできる力をもてるように接してき たつもりです。

三年生の皆さん、あなたたちなら地に足をつけて自分の足でしっかりと立ち、自分の足で力強く歩いていけると信じています。

進路指導主事 伊藤 誠
卒業おめでとうございます。この一年、自分の将来についてよく考え、進もうとする道を決めてきました。

進路に向けて一生懸命努力してきましたが、入学や就職することがゴールではありません。そこで何を成し遂げるかの方がよほど重要なことです。その先を見据える目とその環境や状況をプラスにしていく姿勢を大切にしましょう。

あなたたちが進んだ先で、大きく成長してくれることを期待しています。



三年一組担任 渡邊 英樹
卒業おめでとうございます。これからみなさんはそれぞれの道を進んでいきます。どの道を選んだかではなく、大切なのは選んだ道で何を成すかです。自分の選んだ道で自分の夢に向かって、思いきりがんばってください。

もし、この先、壁に当たり、悩んでしまったときは、沓掛中で学んだ三年間を思い出してください。きっとみなさんを助けてくれることでしょう。先生もみなさんの応援団としてこの先もずっと応援しています。みなさんのさらに成長した姿を見られるのを楽しみにしています。

三年二組担任 田淵 裕子
三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。旅立ちの時を迎えた今、みなさんはどんな気持ちでいるのでしょうか。

「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。」人生という旅の途中には、たくさんの岐路があります。だから、時には道に迷うこともあるでしょう。しかし、道に迷っても良いのです。道に迷うことは新しい道を知ることにもなります。自分の決断を信じ、前へ進んでいくってください。

一年間という短い時間でしたが、本当にありがとうございました。



三年三組担任 才賀 寛樹
あなたたちは、これから226通りの道をそれぞれ歩んでいきます。駆け足で進むとき、道に迷うとき、来た道を引き返すときもあるかもしれません。

「出会い」は宝物です。一人でできることには限りがあります。可能性を広げてくれるのは出会った人たちです。だからこそ、沓掛中での出会いを大切にしながら、新たな道で新たな出会いをしてください。

三年四組担任 兼子 裕樹

君たちと過ごした三年間はとても楽しく、毎日が輝いていました。そんな日々がなくなってしまうと考えると、少し寂しくもあり、立派に成長した姿を見送れることに嬉しさも感じます。この三年間で多くのことを経験してきたと思います。どの経験もいつか必ず自分の力になるでしょう。道に迷ったときは、自分が歩んできた道を振り返ってみてください。次は、成人式で会える日を楽しみにしています。

最後に、四組のみんな、この一年間幸せな時間を過ごさせてくれて本当にありがとうございます。



三年五組担任 金田 一希
卒業。三年間をともに過ごした仲間との別れ。そして、少しの不安と大きな希望の日々のはじまり。

みなさんはこれから広い世界に飛び出します。そこではたくさんの困難にぶつかると思っています。そのときはぜひ、笑顔で、そして全力でぶつかってみてください。その経験が君たちを大きく成長させてくれると思います。

みなさんと過ごした二年間はほんとうに楽しかったです。たくさんの思い出をありがとうございます。それぞれの進路先での活躍を期待しています。卒業おめでとう。

三年六組担任 板倉 豊

この一年間、みなさんと共に過ごし、その行動力、団結力に何度驚かされたことでしょう。日々成長していく姿に何度誇らしさを覚えたことでしょうか。沓掛中学校に赴任して、この学年を担当することができて、本当に幸せでした。ありがとうございます。

みなさんのさらなる活躍、成長を願い、ある数学者の言葉を贈ります。「困難に出会ってもまだできると自分を信じよう。無限の可能性を秘めた未来。その白地図に書き込まれていく足跡。新たなことに挑戦するときには、勇気をもって踏みだそう。道がなければ作ればいいのだから。」

けやき学級担任 森 拓磨

ご卒業おめでとうございます。沓掛中学校に来て、三年生の皆さんの団結力、力強さを強く感じました。特に行事に全力で取り組む姿は、とても輝いて見えました。この沓掛中学校で経験してきたこと、そして仲間は一生物です。いつまでも仲間を大切に、周りの人にそっと優しさを差し伸べられる、そんな人になってください。

くすのき学級担任 渡邊 麻友子

ご卒業おめでとうございます。入学から卒業まで、こうしてみなさんの成長を間近に感じることができ、本当にうれしく思います。勉強や部活動、体育大会や文化祭などの学校行事。一人一人の熱心に取り組む立派な姿が目には焼き付いています。中学時代に一生懸命頑張った経験は、きっと今後の人生において自信となり、あなたを支えてくれると思います。この先楽しいこともあれば、辛いこともあるでしょう。転んだらそこから立ち上がり、一歩一歩前へ歩いてほしいと思います。自分の花を咲かせられますように：

三年副担任 小村 マリ

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。新たな門出のときを迎えました。この沓掛中学校で過ごした三年間はどのようなものだった

か。多くの仲間と出会い、共に学び、新しい経験を積んだ三年間だったと思います。これからの人生できっとつらいことがあると思います。その時は沓掛中学校で過ごした三年間を、仲間を思い出してください。必ずみなさんの背中を押してください。素直なみなさんに出会えて本当に良かったです。これからますます応援していただきます。

三年副担任 志鶴 工字太
私は、本年度この学年の担当となりました。一年間という短い時間ではありましたが、とても思い出の詰まった内容の濃い一年間でした。三年生のみなさんは、とても素直でした。また、目標が定まった際にはとても大きな力を発揮することができました。その姿に頼もしさを感じつつ、今後の活躍に期待をいただきました。

これまで教わり、培ってきたことをベースにして、多くのことに挑戦し、失敗や成功を経験し積み重ねていってほしいと思います。

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。
三年副担任 井戸田 章
三年生の皆さん卒業おめでとうございませう。沓掛中学校での三年間はどうか。卒業後

は、新しい世界が待っています。興味や関心のあることにチャレンジして自分を高めていって下さい。目標を決め、それに向けて頑張っている君たちの姿は、きつと輝いて見えることでしょう。何年後かに再会できることを楽しみにしています。

三年副担任 箕浦 裕子
三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。素直で優しい心をもった皆さんが三年間成長していく姿を見るのは、ほんとうに素敵なことでした。これからの人生、晴れる日もあれば雨の日もあります。でも、「幸せは自分の心が決める」どんなときにもこの沓掛中学校で培った力を礎に、自分の人生を楽しんでください。

二年生の皆さんへ

二年学年主任 河合 芳光
一学期。野外でのキャンプファイヤーはできなかったのですが、キャンプドールサーブスや雨の中のトーチトワリングなど、全員で協力し、充実した野外活動でした。

夏休みから二学期。各部活動で、三年生からバトンをもらい、真剣に練習し、新人戦などで結果を残しました。また、中学生になり二回目の体育大会と文化祭では、この一年間

での成長の大きさを見せてくれました。

三学期、三年生を送る会や卒業式を成功させようと全力で取り組み、三年生に感謝の気持ちを伝えることができ、最高学年になる準備ができました。

一年生の皆さんへ

一年学年主任 塚原 裕久
一年前、入学したばかりの頃は、中学校での生活に戸惑いながら、緊張の毎日を送っていたと思います。そんな中、一学期の校外学習や壮行会では、自分たちが中心となって行事を成功させることができました。大きな成長を感じました。二学期の体育大会や合唱コンクールでは、先輩たちの背中を見ながら、自分たちができる精一杯の姿を見せてくれました。

日常生活では、明るく元気がよく一年生らしさが見られました。「他律」から「自律」へ、まだまだ課題もありませんが、確かな成長を感じた一年間でした。来年度は、二年生として先輩の手下となり、先輩を支えることが求められます。よき先輩となるよう更なる成長を期待しています。



卒業に思う

三年一組 松浦 佳瑚
私は、中学校生活で、みんなで協力することの大切さを学びました。部活動では、先輩方の姿を見て、卓球部のみんながチームとしてより強くなるように、練習に臨めるようになりました。その結果、大会ではたくさんの賞を取ることができました。また、合唱コンクールでは、クラスの気持ちはまとまって、練習に取り組む姿勢がよくなり、賞を取ることへとつながりました。この経験を高校でも、行事や部活動などに生かしていけるよう頑張りたいです。

三年二組 大橋 楓華
私が中学校三年間で学んだことは友達の大切さです。体育大会や文化祭では、クラスや学年で団結して取り組むことができました。意見が合わず、ぶつかり合うこともありましたが、よりよい行事をつくり上げ、絆を深めることができました。困ったときに支え合い、嬉しいときに一緒に喜べる友達がいたからこそ、最高の中学校生活を送れたのだと思います。高校に進学しても、友達を大切に、友情を深めたいです。

三年三組 櫻木 建吾
この三年間を振り返ってみると、今後の人生に関わる「学び」に気づきました。それは、「一つのことを極めるのも悪くない」ということです。僕は所属していた剣道部で、とにかく同じ技を練習し続けました。その結果、支所大会ではその技で勝利することができ、とても嬉しかったです。幅広く物事に取り組むことも不可欠ですが、自分の好きなことや得意なことを、とことん極めようとする心も大切にしたいと思います。

三年四組 阿曾 直
私は、中学校生活で人との関わり
の大切さを学びました。入学当初は部活や勉強のことで不安でしたが、地域の方や家族に応援してもらいながら毎日楽しく学校にすることができました。また、ボランティア活動を通して自分には何ができるかを考えることの大切さや、人を笑顔にできる喜びを知りました。人と関わることでたくさん学び、成長することができました。卒業後も地域のボランティアに参加したり、たくさんの人と話をしたりして、人を笑顔にしていきたいです。

三年五組 木村 帆乃花
中学校三年間で、体育大会や文化祭、日々頑張る仲間と協力して達成したときの喜びと、最後まで諦め

ないでやり遂げる強い気持ちをもつことの大切さを学びました。

たくさん笑顔を悔し涙、頭を悩ませた勉強の時間があつたから、成長することができたと思います。

小さなことで友達と笑い合った日々も、大切な思い出の一つです。

このたくさん思い出を胸に、これから頑張っていきたいです。

三年六組 西岡 駿
僕は、三年間の学校生活の中で、体育大会や文化祭などの行事を通して、仲間と協力する大切さを学びました。

一年生の頃は、うまく話し合えず、クラスでなかなか協力できないこともありましたが、学年が上がると「協力しよう」という意識が高まり、目標に向かってクラス全員が協力し団結することで、とても大きな力になると感じました。

これからも仲間を大切に、充実した高校生活を送りたいと思います。

くすのき学級 豊田 純怜
体育大会で一番印象に残ったものは応援合戦です。友達にたくさん助けってもらいました。応援合戦の練習では、分からないところを教えてくださいました。教えてもらったらぶん分かるようになったので良かったと思います。文化祭では、太鼓の演奏を発表し

ました。音楽の時間に一生懸命に練習をしました。本番では、練習の成果が出たので良かったと思います。太鼓を上手にたたくことができるようになって、嬉しかったです。



一年を振り返って

二年 三組 樺原 瑞貴
僕たち二年生は、体育大会や文化祭などの行事を通して、先輩にリードしていただきながら、一つの目標に向かって、仲間と協力することの素晴らしさを実感できました。また、職場体験学習や保育園実習では、働くことの難しさややりがいなどを学ぶとともに、一人一人の個性についても考えることができました。一年間で成長できた部分もありますが、まだ先輩には及びません。四月からは更に努力し、香掛中学校を盛り上げていきたいと思っています。

一年 四組 木全 咲弥
一年間を振り返ってみると、入学したばかりの頃に比べ、中学校生活に慣れてきて、だいぶ中学生らしくなってきたように感じます。

私たちの学年はとても元気がよくて、あいさつの声も大きいです。しかし、二分行動などがまだ十分できていないことが課題です。また、体育大会などの行事に初めて参加して、仲間との絆を深めたり、先輩方のすごさを感じたりすることができました。

来年度は、私たちも先輩になります。先輩

として、
香中の二年生としてふさわしい行動をとりたいです。

